

夢のつづき

校長 武井 正明

昨日の朝は町内のどぶさらいから始まった。そそくさと済ませ一路エコスタに急ぐ。球場には数えきれないほど行っているが、内部に入れるのは初めてである。吉中ナインは約束通り、私をエコスタに連れてきてくれた。すごい子どもたちだ。本当にありがとう!!

着くと既にナインは、球場でアップをしていた。いつも通りの雰囲気だ。正面入口には2009年開場記念の広島阪神戦の出場選手たちのサインが飾られてあった。新球場のこけら落としの観戦に行ったのを思い出す。プロ野球初観戦の義父母は大喜び。試合後義父はテレビの取材を受けて一時は近所の噂になった。あれから16年か…。

会わないでおこうと思っていたが偶然その時、対戦相手の大江聡監督とぼったり会う。「お互い頑張れば、結果はどっちでも、なあ…」(ウソばかり。吉中が絶対にもらいますと顔に書いてありますよ)あまりに嘘くさい言葉に思わずお互い苦笑いだ。

スタンドでは田上中野球部の生徒達が、ノートを持ってバックネット裏最前列に陣取っている。その傍に村岡・佐藤の両顧問。弥彦中の吉田先生もいる。みんな戦友だ。彼らの隣に座ると、瞬時に自分もつい野球部顧問に戻る。

果たして運命の一戦が始まった。早速チャンスをつかむが、ゲッツーで逸する。楽な戦いにはならないだろうな。先発主将の立ち上がりは上々。直球に伸びがあり、スライダーも切れた。そして3回表、待望の先取点が一挙に3点!! さらに守備ではセンターに抜ける強烈な当たりをセカンドが飛びついてチームを救う。4, 5回も着実に加点し5回裏に2点を失ったが、救援も踏ん張り、6回裏は0で抑えた。7回表にはダメ押しとともとれる貴重な1点が入った。積み上げたヒットは計11本!! 6-2、4点差。これで何とかなるな…。

しかし、ここからが本当の勝負だった。聖籠打線が一気に襲い掛かる。一打逆転サヨナラの大ピンチまで追い込まれ、神に祈った。そして、三振!! 6-5 気づけば聖籠も安打10本。壮絶な打ち合いだった。決勝は惜敗。しかし北信越の切符は掴んだ。戦いは続く。

この結果をずっと気にしていた人がいる。私の親父だ。4日の試合までいつも通り観戦していたが、急な入院となり現在は緩和病棟にいる。試合後、父の耳許で吉報を伝えると微笑みが返ってきた。一昨日の大の里優勝に続いて、赤ワインを舐めてお祝いした。本当に吉中ナインには感謝だ。君たちが父の希望になっている。おかげで親孝行の真似事ができた。